



プロジェクトに応募したのは、小学6年生の女の子3人。彼女たちの願いは「頑張ってきてよかったと思えるようなことがしたい」「プロの選手と一緒に練習をしてライバルチームに勝ちたい」というものでした。実現にご協力いただいたのは、元バレーボール女子日本代表の新鍋理沙さん！子どもたちは新鍋さんとともに最後の試合へ臨みます。

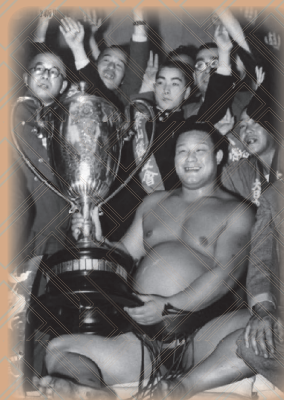
【相撲の聖地 宇佐】を次世代へつなぐために



プロジェクト詳細

昭和の大横綱「双葉山」生誕の地である宇佐市では、世代を超えて多くのみなさんが相撲に慣れ親しんできました。全国高校相撲宇佐大会や全国大学選抜相撲宇佐大会が長年にわたり開催され、相撲の聖地と呼ばれるようになりましたが、新型コロナウイルスの影響により2年連続で大会中止を余儀なくされています。

市では、今後も安定して全国大会を開催するとともに、次世代の子どもたちに十分な相撲競技環境を残すため、ふるさと納税によるガバメントクラウドファンディングを行い老朽化した施設の改修などを目指します。



双葉山

明治45年2月9日、宇佐郡天津村布津部（現在の大字下庄）生まれ。第35代横綱であり、不滅の69連勝という大記録を打ち立てる。1年2場所の時代に全勝優勝8回を含む12回の優勝など偉大な業績を残し、後に「相撲の神様」と称される。

ガバメントクラウドファンディングとは？

自治体が抱える問題解決のため、特定のプロジェクトを設定し、そのプロジェクトに共感した方からふるさと納税による寄附を募る仕組みです。いただいた寄附金はプロジェクトの実行のために使用されます。

POINT

本プロジェクトへ一定額以上の寄附をいただいた場合は、返礼品に加え、市相撲事務局よりお礼の品を贈呈します（ページ下部）



市外に住む親族・友人・知人などに制度の周知、ご協力をお願いします。

目標金額
500万円

本プロジェクトの目標と寄附金の活用

8/30(月)
まで

3つの目標

- 1 相撲施設や設備を改善し、相撲競技環境を次世代に残す
- 2 全国大会開催により「一勝に賭ける」選手の思いをつなぐ
- 3 相撲文化の伝統を継承し「双葉山」生誕地として活性化を図る

3つの活用

- 1 全国相撲大会の魅力発信（インターネットライブ配信、ダイジェスト動画配信など）
- 2 次代につなぐ相撲の未来（相撲場改修費、競技普及振興費、設備維持改修費など）
- 3 全国相撲大会の伝統継承（大会開催費、土俵整備費、新型コロナ対策費など）

相撲事務局からお礼の品

5万円以上

記念相撲Tシャツ(1枚)



10万円以上

双葉山バッグ(トート&サコッシュ)



※記念相撲Tシャツも1枚贈呈します。

問合せ 市相撲事務局（文化・スポーツ振興課内 ☎ 27-8175）

